

ク口アチア共和国国会の招待による
 同国公式訪問及び各国の政治経済事情等視察
 参議院副議長一行報告書

団 長	参 議 院 副 議 長	山 東	昭 子
	参 議 院 議 員	家 西	悟 夫
	同 議 事 部 長	山 内	俊 太
同 行	同 議 事 長 秘 書	木 庭	健 太
	副 議 事 官	東 海	林 壽
	警 護 官	山 口	秀 秀
		高 嶋	久 樹
		川 上	俊 志
			英 英

一、はじめに
 本議員は、ク口アチア共和国国会の招待による
 及びク口アチア共和国国会の招待による
 し領化をすう交流の開設議長8と等して、本一十る。七月
 八日（火）東京（水）高
 九日（火）東京（水）高
 一、はじめに
 本議員は、ク口アチア共和国国会の招待による
 及びク口アチア共和国国会の招待による
 し領化をすう交流の開設議長8と等して、本一十る。七月
 八日（火）東京（水）高
 九日（火）東京（水）高

十日 パリ（木）在留邦人との夕食懇談会
 フラン・スリユド上院訪問
 デュアラード上院上院上院副議長との会談
 ヴァラデー食本文化会館視察
 主催日（金）カダラッシュ着
 十日 パリエター（国際熱核融合実験炉）サイ
 ト視察（土）ア・アンティポリスサイエンス
 カダラッシュユ発ニース着
 十日 ソパーク視察（日）ローマ着
 ニース（月）ティ等視察
 十日 フラスカデー等視察
 四国立食品・栄養リサチ研究所訪問
 口ーマ在留邦人との昼食懇談会
 口ーマ日本文化会館の視察
 作家塩野七生氏との懇談
 十日 イタリア上院訪問
 ディーニ上院外交委員長との会談
 口ーマ発トリノ着
 十日 食科ノ大（フ）クフルト経由）
 トリノ発（着）
 十日 ベビッチ国会議長との会談
 メシッチ大統領との会談
 コソル副首相との会談
 ミツァグレブ市内視察
 ザ山東副議長主催
 十日 「ツエティングラード地雷除去案件」
 視察

十
 プザ
 リグ
 トレ
 ビブ
 ツ発
 エド
 湖ブ
 群口
 国ブ
 立ニ
 公ク
 園着
 内視
 視食
 察会
 会夕
 食食
 二
 十旧
 ドブ
 ドブ
 パリ
 二十
 東一
 京日
 着
 共
 和
 国
 フ
 ラ
 ン
 ス
 を
 訪
 問
 し
 、
 次
 い
 で
 イ
 、
 ズ
 ア
 チ
 共
 一
 九
 の
 概
 要
 か
 ら
 九
 五
 年
 に
 か
 け
 て
 、
 ア
 チ
 共
 一
 九
 の
 概
 要
 か
 ら
 九
 五
 年
 に
 か
 け
 て
 、
 現
 在
 の
 情
 況
 を
 踏
 り
 上
 げ
 て
 考
 察
 する
 こと
 が
 重要
 な
 と
 考
 へ
 ら
 れ
 て
 いる
 。
 今後
 の
 取
 組
 み
 につ
 いて
 は
 関係
 省
 庁
 と
 協
 働
 し
 て
 進
 め
 る
 こと
 が
 重要
 な
 と
 考
 へ
 ら
 れ
 ている
 。
 関係
 省
 庁
 と
 協
 働
 し
 て
 進
 め
 る
 こと
 が
 重要
 な
 と
 考
 へ
 ら
 れ
 ている
 。

三、ク、口、ア、チ、共、和、国、フ、ラ、ン、ス、を、訪、問、し、次、い、で、イ、
 本、議、員、団、は、ま、ず、フ、ラ、ン、ス、を、訪、問、し、本、先、に、報、告、記、述、す、る、
 招、待、と、す、る、ア、チ、共、一、九、の、概、要、か、ら、九、五、年、に、か、け、て、
 こ、ろ、で、ア、チ、共、一、九、の、概、要、か、ら、九、五、年、に、か、け、て、
 (ク、ロ、ア、チ、共、一、九、の、概、要、か、ら、九、五、年、に、か、け、て、
 旧、ユ、タ、の、最、大、な、組、り、合、い、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、こ、と、が、
 定、年、の、八、事、豊、り、て、係、統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、
 八、事、豊、り、て、係、統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 事、豊、り、て、係、統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 豊、り、て、係、統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 り、て、係、統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 て、係、統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 係、統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 統、ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 ク、現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 現、在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 在、の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 の、情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 情、況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 況、を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 を、踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 踏、り、上、げ、て、考、察、す、る、
 上、げ、て、考、察、す、る、
 げ、て、考、察、す、る、
 て、考、察、す、る、
 考、察、す、る、
 察、す、る、
 す、る、
 る、
 二)

議 謝 伝 め を の E に 八 盟 准 す 大 鮮 に ア の 大 て 国 た が さ 接 請 出 ち 日 ア り 今 携

べ 七 長 始 の え の 表 こ ク U 百 十 に を ま ば を 問 、 ち 環 ぎ こ は と い 協 ら 見 し を メ 七 大 山 へ ち つ 後 を

ッ 十 表 に 及 と 改 る に ア 盟 十 法 し っ 、 し 待 に 本 と 保 関 を 日 交 、 関 、 い い ん ッ 十 領 副 感 の あ 政 め

ち 七 敬 、 び と 正 旨 対 ち を の 改 て て べ く す 関 で し 護 心 受 本 が ま 係 山 た 旨 で ち 七 を 議 謝 自 り 治 て

国 日 訪 山 本 も に 発 し ア 目 法 正 も い び 、 る す 開 て が を け は あ た を 東 だ 述 お 大 日 表 長 の 然 、 い

会 午 問 東 年 に 精 言 、 訪 指 律 手 、 る ッ 特 と る 催 も 重 持 、 拉 る 、 深 副 く べ 受 統 午 敬 は 意 の 日 経 く

議 前 し 副 一 、 力 し べ 問 し 改 続 先 状 ち に の 六 さ ア 要 っ 山 致 ク 環 め 議 た た け 領 前 訪 、 を 美 本 濟 こ

長 、 議 月 ク の 口 に 。 ッ 歡 ク を 終 加 に 長 学 明 国 た り 題 い 副 害 ア 保 い よ に こ た の ク し 年 べ さ ら 始 を

と ク 会 長 の 口 に 。 ッ 歡 ク を 終 加 に 長 学 明 国 た り 題 い 副 害 ア 保 い よ に こ た の ク し 年 べ さ ら 始 を

の 口 談 は 議 ア 取 ち 迎 口 予 了 盟 あ か 技 が 協 G ア だ る 議 者 ち 護 く り も る い 会 口 、 三 る 、 の め 期

会 ア を 、 長 ち り 議 す ア 定 し 議 る ら 術 な 議 8 海 あ 旨 長 の ア の こ 、 べ 、 と 談 ア 会 月 と 魅 觀 あ 待

談 ち 行 今 就 ア 組 長 る ち し た 定 と 、 さ の サ 、 り 発 は 問 に 問 と 日 び べ の ア ち 談 の と 力 光 ら す

ア っ 回 任 国 ん は 旨 ア 、 書 の 日 経 れ 成 ミ 地 、 言 、 題 後 題 を 本 ッ び 発 ア を メ も に 客 ち む る

国 た の へ 会 で 、 述 国 こ 他 を 説 本 濟 る 功 ッ 中 世 が 北 を 方 に 希 の ち ッ 言 大 行 シ に 対 も る 旨

会 。 公 の が い 山 べ 会 の 方 締 明 の 分 と を ト 海 界 あ 朝 抱 支 関 望 発 議 ち が 統 っ ッ 、 す 増 分 発

内 式 お E る 東 る は 五 、 結 を 経 野 と 祈 に 及 の っ 鮮 え 援 し す 展 長 議 な 領 た ち 日 る 加 野 言

に 招 祝 U こ 副 と 本 か N し 行 濟 で も る 関 び 環 た 問 て を て る の の 長 さ 府 。 大 本 認 し で し

べ 待 い 加 と 議 と 年 月 A 各 っ 的 の に 旨 し ド 境 。 題 お お も 旨 仕 訪 か れ た に メ 統 領 は が い 国 。

ビ へ の 盟 に 長 も 夏 間 T 国 た 発 協 、 、 ナ 問 関 へ 願 、 述 方 日 ら た 。 シ 領 の ク 広 る が

ッ の 意 の 敬 一 に ま で O の 。 展 力 北 さ ク U 題 関 、 い 両 べ を を 申 し 訪 口 ま 、 連

ち 感 を た 意 行 、 で 約 加 批 は 拡 朝 ら 口 河 に し 同 し 国 た 直 要 し ッ 訪 口 ま 、 連

。の員ル員れ、いづの参国はのあき日策長日うを
た行議一議らいつのれで種に行、政。会、交流
し一席ア好めてに年じス各況先後国た盟でを交
観長出ユ友務れ況昨ねンて状の中れ連間換の
参議はり日りた状、「ラめい済そ対わ員の交間
を副団・。仏た持政治はる。フ占し経、行議と見員
内東員ユた院わを政長ゆた、を蔽がり価が好員意議た
院山議デっ上に心の議わっは数は昇あ評換友議いびし
でて本、行、年関本副い行ら多政上がの交日席な及認
内し、後をは十な日東るをかが財の言ト見仏出の間確
案断れの談長で大の山け明長派家格発ツ意ド、憚会を
の中らそ会議ま多近、お説議国会価のミしーみ忌議と
長をべ。、副年も最しにて副じ、油旨サ関ラ臨てのこ
会議述べたしル一に、対後いル同が原る8にアにい国く程
盟審がれ問一九流りに挙つーでる・いG等ヴ会つ両い日子
連、辞ら訪ア九交よの選にア院い料て、方、食に後ての原
員はのえ敬ユ一問長た常等ユ両て原え策え後昼等今め他
議で迎迎表りを会議れ通況り下め、与政考了迎係、深の
好場歓でを・長議副ら員状・上進たを済る終歡関に層そ九
友議と手長ユ会の同ね議のユ、をま安経す談の国も一
日会介拍議デ盟国、尋院」デ在革、不の対会催両とり二
仏本紹の副連両がて議会現改りに本に主仏とよ(二七
つ工意シト抄をでの含クのソ問三

